

第3回 新飛行経路案に係る環境検証委員会 開催結果概要

■日時：令和6年1月29日（月）14時00分から15時45分まで

■場所：大阪赤十字会館4階 401会議室

■会議の概要：

○淡路島3市における住民説明の結果及び地元市町の意見について、事務局から説明した。

○航空機騒音の予測について、第2回委員会での最も厳しいケースを想定した暫定案から、深夜・早朝時間帯の海上ルート適用など前提条件を一部変更した修正案について、関西エアポート社から説明した。関西国際空港及び神戸空港ともに、全ての陸域において航空機騒音の環境基準（Lden）を超えることはなく、また、関西国際空港では、参考値として示した環境基準マイナス5dBの範囲が、暫定案では一部住宅地にかかっていたものの、修正案では、全て住宅地から外れ、ほぼ海上に収まることを確認した。加えて、関西国際空港では、2期事業アセスメントの騒音予測図と比較し、範囲が縮小したことを確認した。

○神戸出発便の新ルートについて、関空到着便と交差する場合に高度3千フィートで陸域を飛行するケースがあり、騒音レベルで懸念が生じていた。これに関し、委員から、深夜・早朝時間帯について一層の時間規制を求める意見があった。しかし、地元自治体からの意見を尊重して原案どおりとした上で、その頻度を可能な限り抑制するよう、国に対して運用上の工夫を行うことを要請することとなった。併せて、地域としても、環境監視に努め、必要に応じて改善検討を行うことが重要との指摘があった。

○これまでの議論を総括し、住民の生活環境への負担をできる限り軽減できるよう、国に対する要請と地域における取組みを盛り込んだ「中間とりまとめ」を行い、公表することとした。

○委員から、今後、地域に対してできる限り情報を共有し、何かあったときに常に議論ができる体制作りを心掛けてほしい旨のコメントがあった。

以上